

令和7年度使用中学校用教科書採択結果及び採択理由
(中学校全教科)

教科等	発行者名	採 択 理 由
国 語	株式会社三省堂 (発行者数4者)	<p>全学年共通の単元が設定されており、3年間の系統性・発展性が重視されている。また、各単元で3領域がバランスよく配置、構成されており、それぞれの能力の育成を図る工夫がなされている。</p> <p>比較的平易で理解しやすい教材が多く、レイアウトやデザインがすっきりしている。また、質・量ともに適切で、見やすく指導しやすい。</p> <p>各単元に「読み方を学ぼう」・「思考の方法」が配置されている。特に、各学年最初の説明的文章では、各教材の前に「ブレ教材」が配置され、読解のポイントを理解してから「本教材」に取り組む工夫がなされ、学習内容の定着が図られている。</p>
書 写	光村図書出版 株式会社 (発行者数4者)	<p>「考えよう、確かめよう、生かそう」の学習の流れを見開きで示すことにより、見通しを持って主体的に学ぶ工夫がなされている。</p> <p>「学びのカギ」で学習のポイントをわかりやすく示すことで、基礎基本の確実な定着が図られるように工夫されている。</p> <p>硬筆用の「書写ブック(別冊)」で定着を図る工夫は、大きな特徴である。</p>
社会 (地理的分野)	株式会社帝国書院 (発行者数4者)	<p>本教科書は、教科書冒頭に「考えを整理する方法(思考ツール)」や「地図帳を活用した学び方」など、主体的に学習するための工夫がなされている。</p> <p>章はじめの単元を貫く問いに、「位置や分布」・「場所」・「他地域との結びつき」など5つの視点を示すことで、様々な事例や資料に基づいて、見方・考え方を働かせることができる構成となっている。また、まとめのページに上記の5つの視点を使った見方・考え方を働かせてまとめる機会の設定や、主体的な学びの自己評価の項目もあり、次の単元に向け、自己の振り返りと反省等を活かすことができる工夫もある。</p> <p>色遣いもカラフル・明瞭で見やすい。多くの漢字にルビがふられており、どの生徒にも主体的に学習に取り組むことができ</p>

		るように作られている。
社会 (歴史的分野)	株式会社帝国書院 (発行者数7者)	<p>本教科書は、自分の言葉で説明する活動を通して、授業の学習内容を振り返ることができるよう、毎時間「確認しよう」・「説明しよう」が設けられている。</p> <p>「章のふりかえり」では、章の問いに対して考察したり、時代の特色をまとめたりすることによって、思考力・判断力・表現力を育成できるように工夫されている。また、「章扉」や「タイムトラベル」を活用し、学習の見通しを立てて、学びを進めていくことで、単元を通した「主体的な学び」ができる構成となっている。また、章末ごとの「学習を振り返ろう」は、見方・考え方等で着目の視点を示し、「対話的な学び」や「深い学び」に取り組むことができるようになっている。</p> <p>難読漢字に関わらず、多くの語句にルビがふってあり、あらゆる生徒に配慮されていた。各ページの下段には、小学校・地理・公民との関連の記述があり、学び直しや横断的な学びができる工夫があった。</p>
社会 (公民的分野)	株式会社帝国書院 (発行者数5者)	<p>本教科書は、単元の導入に「学習の前に」が、各單元ごとに設定されており、見開き2ページの紙面を使い、イラストを読み取る活動を通じて、章全体の学習内容を見通し、章の問いを確認する構成となっている。生徒の興味・関心を高め、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。また、「18歳への準備」や「未来に向けて」において、主権者として社会参画に対する意欲を高め、現代社会の課題を主体的に考えようとする態度をはぐくむことができる機会を多く設定した構成となっている。</p>
地 図	株式会社 帝国書院 (発行者数2者)	<p>本地図では、地図中に絵記号やイラスト、写真が多く掲載されており、必要な情報が一目で認識でき、凡例や説明が簡潔に表現されている。</p> <p>また、地図や地勢図、鳥瞰図に用いられる文字や絵記号は、デザインを大きくしたり、色彩を明るくしたりすることで、見やすくなるよう配慮されている。</p> <p>さらに、「地図で発見！」のコーナーでは、地図や資料の着目する事柄を示した問いが示されており、見方・考え方を働かせることで、思考力・判断力・表現力等を育成することができる</p>

		<p>るよう工夫されている。</p>
数 学	<p>東京書籍 株式会社 (発行者数7者)</p>	<p>本教科書は、「MATH CONNECT」をテーマに、数学どうしのつながり、身のまわりや社会と数学とのつながりを示すことで、数学の必要性や有用性を感じさせ、主体的に学習の取り組むことができるよう配慮されている。</p> <p>長崎県の取組や文化に触れる問題を掲載しているため、数学を身近に感じることができるよう工夫されている。</p> <p>必ず身につけたい問題には、QRコンテンツとリンクさせた「クイックチェック」を設けており、解けなかった問題は、ヒントを見て再度取り組むことで、理解を深めることができるようになっている。</p> <p>節の導入「深い学びのページ」には日常生活や社会に関連した問題があり、これらの問題を解決することを通して、数学のよさや有用性を実感することができるとともに、問題解決の進め方そのものを学ぶことができるよう工夫されている。</p> <p>「数学×仕事」において、仕事で数学を活用している人を紹介し、数学が実社会において活用されていることを実感させることも期待できる。</p> <p>「章の問題B」では、全国学力・学習状況調査でも求められる、実生活や他教科の学習など様々な場面で知識・技能を活用する力を問う「活用の問題」が用意されており、思考力・判断力・表現力を育成する工夫がされている。</p>
理 科	<p>大日本図書 株式会社 (発行者数5者)</p>	<p>本者は、理論と実践のバランスがとれており、地域特有の自然環境や生態系に重点を置き、地域の自然や地形を学ぶ教材が取り入れられている。教育基本法の理念に基づき、科学的な思考力や探究心の育成を重視している。生涯にわたる学びの基礎を築くことができる。学習指導要領の目標に沿って、基礎的な知識や技術を身につけ、自然環境や科学技術の理解を深める内容となっている。実験手順や観察のポイントが詳しく説明されており、教師も生徒も使いやすい構成になっている。カラフルな図解や写真を多用し、視覚的にわかりやすい教材が特徴であり、サイズ感（B5版）も非常に良い。デジタル部門との連携により、指導者と学習者とが共有しやすい。特に、本県の教材を多く取り入れていることや、毎日、学習に使用する「主たる</p>

		教材」としての使いやすさについては、本者が優れている。
音 楽 (一般・器楽)	株式会社 教育芸術社 (発行者数2者)	<p>学習の流れを見通しながら、学習をスムーズに進められるよう学習目標や教材が配列されており、学習内容の分量も適切である。特に、精選された文章やレイアウトの工夫によって、重要事項が理解しやすくなっている。加えて、「音楽を形作っている要素」が視覚化されていることで、生徒たちは音楽的に根拠のある意見を述べる力を身に付けることができる。</p> <p>また、創作教材においては、学習の手順を丁寧に示すとともに、吹き出しなどで生徒の思考や判断を例示することによって、生徒の思いや意図をどのように生かすのかが分かりやすくなっている。生徒の学びやすさや主体的に学ぶ態度を育成することを考えられた編集・構成である。</p>
美 術	光村図書出版 株式会社 (発行者数3者)	<p>各題材において、2ページを見開いたときの図版の大きさや色合いのバランスがよく、制作の流れが明確で分かりやすい。</p> <p>各題材の「鑑賞」と「表現」をわかりやすく区別するための罫線が引かれている。</p> <p>別冊の美術1資料は小さめのサイズで教科書に挟むことができ活用しやすい。その内容は大変充実しており、発想を広げたり構想を練ったりする一助となる「思考ツール」も掲載されている。</p> <p>各題材の最初に「鑑賞」の視点が示されており、見方や感じ方を広げたり深めたりすることができるよう工夫されている。</p> <p>親しみやすいイラストの挿絵があり、視線や吹き出しの言葉で大切な部分に視点を集中させる効果があるため、制作過程で、互いにアドバイスできるページもあり、自他の良さを認め合う主体的で対話的な深い学びを進めることができる。</p> <p>大変美しく大きな図版や、紙の材質を変えたり原寸大での表示により、リアルに作品を味わうことができる。また生徒目線の活動の写真が多く、制作の過程をイメージしやすい。</p>
保健 体育	株式会社 Gakken (発行者数4者)	<p>学習の流れを「ウォームアップ」「学習の課題」「本文と資料」「エクササイズ」「学びを活かす」と進めることで、主体的・対話的で深い学びを実現に重きを置いた教科書である。教科書の文字数、資料数も適当である。また、現代的な課題に対応する力を身に付けるために、学習内容と適切に関連させ、実</p>

		<p>生活における実践や健康課題についても考えられるよう適切な内容が掲載されている。</p> <p>章末の「探求しようよ！」により、自身のスポーツへの関わり方を考えることができるようになっている。</p> <p>本文の記述に当たっては、各項目においてできるだけ平易に理解しやすい表現となっている。</p> <p>「自然災害から身を守るために」については、自然災害の種類が写真で示され、どのような災害がいつどこで起こるのかという危機意識を高めることができる内容となっている。</p>
技 術	東京書籍 株式会社 (発行者数3者)	<p>小中の内容の系統性が明確である。</p> <p>空間軸と時間軸という二つの視点からの段階に応じた学習対象が明確である。空間軸の視点では、家庭、地域、社会という空間的な広がりから、時間軸の視点では、これまでの生活、現在の生活、これからの生活、生涯を見通した生活という時間的な広がりから学習対象を捉えて指導内容を整理し、工夫されている。</p> <p>生活の中から問題を見だし、課題を設定し、解決方法を検討し、計画、実践、評価・改善するという一連の学習過程を重視し、この過程を踏まえて基礎的な知識・技能の習得に係る内容や、それらを活用して思考力・判断力・表現力等の育成に係る内容について工夫されている。</p> <p>資料など活用しやすく、技術の見方・考え方を取り上げたコーナーが分かりやすく、問題発見の際に4つの視点(課題・ニーズの探究・シーズの探究・知的財産の活用創造)を意識できるように工夫されている。</p> <p>実験・実習・研究など充実しており、糖度計などの説明がしっかりと設定している。</p> <p>エネルギー変換の技術では、制御の説明が十分なされている。</p> <p>安全指導面では、事例を挙げるなど具体的にわかりやすく構成になっている。</p> <p>二次元コードからの追加資料があり、タブレット等を使用した授業を考えた場合、主体的に学習に取り組む態度、課題解決能力の育成に配慮されている。</p>

<p>家 庭</p>	<p>東京書籍 株式会社 (発行者数3者)</p>	<p>教科書の構成が、ガイダンスに続き、家族・家庭生活、食生活の学習の順に配置がされており、西彼地区の各校で実施している指導計画と学習の流れが同じであるため、扱いやすい構成になっている。</p> <p>各節に「目標」、導入に使える「始めの活動」、目標に対する「学習課題」、まとめに使える「まとめの活動」が記載されており、何をどのように学べばよいか分かりやすく工夫されている。</p> <p>「考えてみよう」、「やってみよう」のような活動のマークが記載されており、これまで学んだことを生かした上で、思考力、判断力、表現力等が育成できる課題が組み込まれており、学習活動の中でとても利用しやすくなっている。</p> <p>ガイダンスの資料の内容が充実しており、家庭分野の問題解決的な学習が重視してある。そのため、「生活に始まり、生活に返す」学習の流れが明確に示されている。</p> <p>生徒が自らの課題に気づき、解決するために必要な知識・技能が身につけられるような構成になっている。また、個別最適な学び、協働的な学びにつながる豊富な二次元コードが掲載されているため、生徒の学びを広げ、深められる構成となっている。</p> <p>各節に学習を見通す「学習課題」が設定されており、生徒が流れを把握し、主体的に学習に取り組むことができるようにしてあり、最後の「まとめの活動」に取り組みせることで、生徒の目標の達成度が計りやすくなっている。</p>
<p>英 語</p>	<p>株式会社 三省堂 (発行者数6者)</p>	<p>挿絵と音声による文法導入から、思考力・判断力・表現力を養うための活動に至るまでの流れがスムーズでわかりやすい。レイアウトも見開き2ページで、すべての生徒にとって学習しやすい作りである。</p> <p>LessonごとにゴールとなるGoal Activityが設定されており、個別学習・協働学習に繋げやすい構成となっている。4技能5領域の習得もバランスよく行える。</p> <p>Small Talk や Think about Yourself を通じて、明確な場面設定の中で自分の意見を話したり書いたりする活動が充実している。</p>

道 徳	光村図書出版 株式会社 (発行者数7者)	<p>1年間を学校生活の流れとそれに伴う生徒の成長に合わせて3つのシーズン（まとめ）に区切り、さらに、各シーズンを「学びのテーマ」に応じたユニットで構成している。そのため、1単位時間の授業のテーマをしっかりと学びながらも、各時間が有機的につながり、ユニットを通して、様々な道徳的価値への理解を深め、多面的・多角的に学びを深められる構造になっている。</p> <p>33の教材に加えて、2つの補助資料があり、各学校の実情に応じて弾力的にオリエンテーションや年間の振り返りの時間をもつことができる教材配置となっている。</p> <p>「まなびの道具箱」として提示されている思考ツールや、より効果的な議論の方法を設定しており、より対話的で協働的な学びを図ることができ、道徳的価値について考えを深めていきやすい工夫がある。また、生徒にとって実生活に近い教材が多く、自分事として考え、問題を解決しようとする教材が配置されており、より充実した道徳科の授業展開が期待できる。</p> <p>一つの教材の中で、話題となる内容項目を中心として、異なる立場や見方で考えを深められるような発問が提示されている。</p> <p>教科書に主題名が提示されていないため、本時でねらう価値について生徒と共に「テーマ」を考えることができる。</p>
-----	----------------------------	--